



「離島の奇跡」のまちづくり 隠岐諸島海士町から大阪へ 島根県海士町の中学生が追大生に魅力をプレゼン

「ないものはない」というコピーを掲げ、独自のまちづくりで移住者を増やし「離島の奇跡」とも呼ばれる島根県隠岐諸島の海士町の中学生が、地域の魅力を知ってもらおうと、7月27日に追手門学院大学（大阪府茨木市、学長：川原俊明）を訪れ、地域づくりを学ぶ学生にプレゼンテーションを行います。

この取り組みは島根県海士町の海士中学校が、探究学習の一環として行っているもので、毎年、修学旅行の機会を利用して都市部の大学生にプレゼンテーションをしています。今回は地域創造学部のある本学に打診があり、大阪では初めての開催となります。

海士中学校からは中学2年生15人が来訪し、「小さな島の小さな中学校からの招待状」をテーマに、「観光」、「自然」、「人・特産物」の3つのジャンルに分けて、クイズや試食を取り入れた工夫を凝らしたプレゼンテーションを大学生に行います。

中学生たちは今年4月から今回のプレゼンに向けて調査やネタ集めを進め、事前に地元の人にもチェックをってもらうなど20時間以上かけて準備を行っており、プレゼンをとても楽しみにしているということです。

共に地域づくりを学ぶ中学生と大学生の交流をぜひ取材くださいますよう、お願いいたします。

【ポイント】

- 島根県隠岐諸島の海士町の中学生が、地域の魅力を追手門学院大学の地域創造学部の学生らにプレゼン
- 探求学習の総仕上げとして、修学旅行を活用して毎年実施。大阪では初めて。
- 共に地域づくりを学ぶ中学生と大学による交流

【概要】

行 事：島根県海士町の中学生が地域の魅力を大学生にプレゼンテーション

日 時：2018年7月27日（金）11時10分～12時50分

会 場：追手門学院大学 食堂棟3階（大阪府茨木市西安威2-1-15）

参加者：海士中学校2年生15人と引率者、追手門学院大学地域創造学部の学生ら

海士中学校の予定

9時	追手門学院大学着
9時～11時	大学見学およびリハーサル
11時10分 ～12時50分	プレゼンテーション、質疑応答 民謡キンニャモニャ披露

この資料の配付先：大阪科学・大学記者クラブ、北摂記者クラブ、島根県政記者会等

【発行元】 追手門学院 広報課 TEL：072-641-9590 谷ノ内・足立